

消化器内科よりご案内

平素は大変お世話になりありがとうございます。
市立病院消化器内科では各種肝・胆・膵疾患の診断・治療を行っています。急性期の消化管出血など、内視鏡治療を要する場合は、内視鏡治療の常勤医師が不在のため、現状では治療可能な専門施設へ依頼している状態ですが、ピロリ菌の除菌療法や上・下部消化管内視鏡検査、大腸ポリープの内視鏡治療は常時行っております。消化器系悪性疾患については当院外科・腫瘍内科・放射線科と協力し、切除術や化学療法、定位放射線治療などを行っております。

平成26年9月、インターフェロンフリー経口薬が登場しC型肝炎に対する治療は劇的に変わりました。副作用や高齢であることでインターフェロン治療ができなかった方にも比較的安全に行え、90%程度以上のウイルス消失効果を得られるようになりました。

C型肝炎は1型と2型があります。慢性肝炎又は代償性肝硬変患者が治療対象で、1型にはダクラタスビル/アスナプレビル経口2剤併用療法(24週服

用)、ソホスブビル/レジパスビル配合剤(12週)、オムビタスビル/パリタプレビル/リトナビル配合剤(12週)の3種類、2型の患者さんにはソホスブビル/リバビリン経口2剤併用療法(12週)の治療法があります。経口薬は大変高価ですが、肝炎医療費助成制度を利用すれば、患者さんの負担は月約1万円～2万円となります。

現在日本でC型肝炎感染者は約200万人です。和泉市は1992年献血者データでHCV抗体陽性率2.8%以上あり感染率が高い地域です。感染者の約6割が、輸血歴等なく、感染源が不明です。自覚症状が無くご自身で気づかず、肝硬変、肝がんに進行してしまっていることもあります。経口薬治療は血液検査にてALT正常の方も対象となり得ます。各自治体の肝炎ウイルス検査を活用し感染者を見つけていくことも重要なことと考えております。市立病院消化器内科では、C型肝炎治療を積極的に行っており、患者さんには最適の治療法をご提案致します。

消化器内科 部長

山田 孝雄



病院の理念



- 1、患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に努めます。
- 2、患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
- 3、新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
- 4、思いやりのある医療人の育成に努めます。

地域医療連携室よりお知らせ

地域医療連携室の実績

平成27年1月～12月の紹介患者数

循環器内科	呼吸器内科	消化器内科	その他内科	腫瘍内科	小児科
545	1,052	659	94	204	691
耳鼻科	整形外科	外科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科
45	489	406	229	54	127
婦人科	精神科	眼科	検査予約	合計	
170	63	9	1,202	6,039	

たくさんのご紹介を頂き、誠にありがとうございました。さらに多くのご紹介を頂けるよう、職員一同、鋭意努力してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

4月より眼科診察日が変更になります。

月・木・金曜日 ⇒ 月・火曜日

月曜日 診察時間 午前10:00～ 午後13:00～

受付時間 8:00～14:00 当日受付、及び紹介予約を承ります。

火曜日 予約のみ 紹介予約を承ります。

婦人科

3月末をもって、西居 由布子医師の退職に伴い、男性医師のみとなりますので、ご紹介の際はご留意下さいます様、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆ちょっと一言欄（何かお気づきの点があれば、FAXにて送信ください。）◆